疼痛緩和のための専門的な治療の提供体制について

当院では、がん等に伴う難治性の痛みに対して、専門的な治療（神経ブロックや緩和的放射線治療）を提供する体制を整えています。

1. 難治性疼痛に対する「神経ブロック」について

神経ブロックとは

脳脊髄神経や交感神経節、またはそれらが形成する神経叢（しんけいそう）に向かってブロック針を刺入し、局所麻酔薬などを注入して神経の伝達機能を一時的または永久的に遮断する方法です。

※引用：がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン（2010 年版）

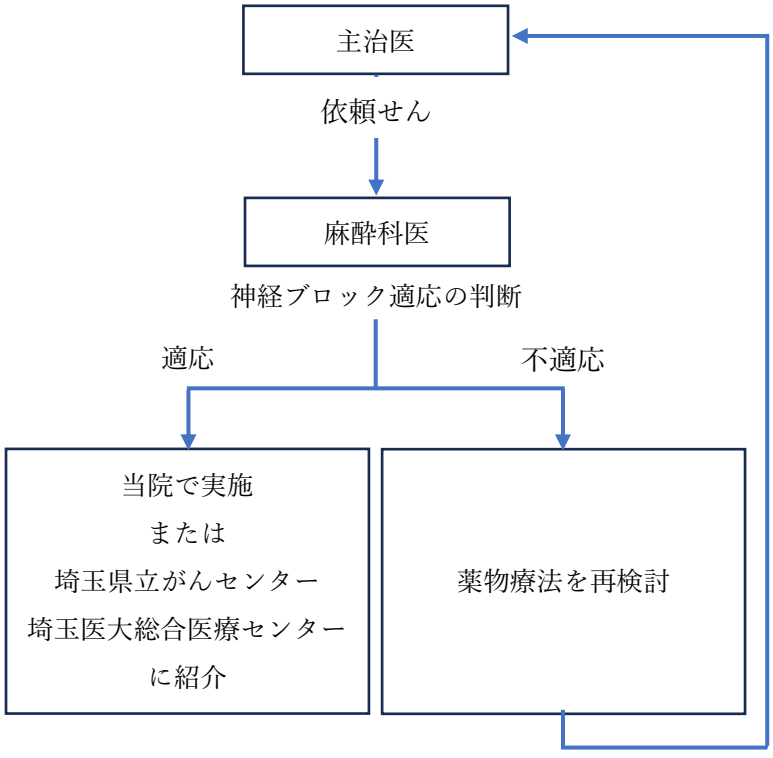
担当医が検討する「適応となる病態・背景」

・大量のオピオイド（医療用麻薬）の全身投与でも、十分な鎮痛効果が得られない場合
・鎮痛薬や鎮痛補助薬の副作用が強く、薬の継続・増量が困難な場合
・限局した痛みであり、局所的なブロック（末梢神経・神経根など）による効果が見込める場合
・オピオイドの使用量があまりに多く、経済的な負担を考慮せざるを得ない場合

対象となる痛みの種類

・内臓痛：膵臓がんなどの上腹部臓器による腹痛・背部痛、直腸・前立腺・子宮などの骨盤内臓器による痛み
・体動時痛：骨転移に伴う、体を動かしたときの痛み
・神経障害性疼痛：神経の圧迫や損傷によるしびれを伴う痛み
・その他の痛み：筋攣縮の痛み、消化管蠕動に伴う痛み、入浴により緩和する痛み

難治性疼痛に対する神経ブロックのフロー



神経ブロック	適応する痛み
三叉神経ブロック	顔：三叉神経痛
肋間神経ブロック	肋骨への骨転移痛
内臓神経ブロック 腹腔神経叢ブロック 下腸間膜動脈神経叢ブロック 上下副神経叢ブロック	上腹部、下腹部の 内臓痛
不対神経節ブロック	会陰部、肛門部痛
神経根ブロック	現局した体性痛
硬膜外鎮痛法	頸部より尾側の痛み
くも膜下鎮痛法	頸部より尾側の痛み
脊髄くも膜下フェノールブロック	胸部、腹部の片側性の 限局した体性痛
サドルフェノールブロック	肛門部、会陰部痛

当院の難治性疼痛に対する神経ブロックの実施状況

神経ブロック	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
神経根ブロック	35	25	12	3
腰部硬膜外ブロック	6	1	0	0
神経ブロック	51	46	33	15
仙骨部硬膜外ブロック	93	34	23	3
星状神経節ブロック	14	0	0	0
腕神経叢ブロック	1	0	1	0
腋窩神経ブロック	5	0	0	0
後頭神経ブロック	2	0	1	0
大腿神経ブロック	2	0	0	0
坐骨神経ブロック	1	0	2	3
橈骨神経ブロック	1	0	0	0
頸・胸・腰傍脊椎神経ブロック	0	0	1	0
神経ブロックにおける麻酔剤の持続注入	0	0	13	0

2. 「緩和的放射線治療」について

緩和的放射線治療（緩和照射）とは

がん特有の痛みを和らげたり、がんが引き起こす様々な症状を軽減したりするなど、患者様の QOL（生活の質）を維持・改善することを目的とした放射線療法です。

※引用：がん診療における「緩和的放射線治療」の積極的な活用に向けて 提言書（2022 年）

3. 受診・ご紹介の手続き（共通のご案内）

神経ブロックおよび緩和的放射線治療をお受けいただくためのプロセスです。

患者様へ：受診・相談の方法

現在の状況	受診・相談の流れ
当院に通院・入院中の方	まずは主治医にご相談ください。適応を検討の上、院内で麻酔科または放射線治療科へ依頼を行います。
他院に通院・入院中の方	現在受診されている病院やクリニックの主治医にご相談ください。

医療機関の担当医の先生方へ：ご紹介・ご依頼方法

当院の専門診療科（麻酔科・放射線治療科）では、直接のご相談や直接予約はお受けしておりません。

地域医療連携センターを通じて、まずは該当する診療科（原疾患の診療科等）の連携予約をお願いします。

受診いただいた該当診療科にて適応を検討の上、当院の担当医より「麻酔科」または「放射線治療科」へ手続きを行います。

詳しいお手続きは、当院ホームページの 「医療機関の皆様へ」＞「地域医療連携センター」 をご確認ください。

当院での対応が難しい場合

病態や施設基準等の理由により当院での神経ブロックが難しい場合は、埼玉県立がんセンターや埼玉医科大学総合医療センターをはじめ、高度な専門治療（神経ブロック等）を実施している専門医療機関と緊密な連携を図り、ご紹介させていただきます。